

# PC再資源化で国際貢献

## 安田産業 紛争地域に人道支援

総合リサイクルに取  
り組む安田産業（京都  
市、安田奉春社長、☎  
075・604・53  
53）は3月、PCの  
リサイクルを活用した  
人道支援プロジェクト  
を新たに開始した。事  
務機器メーカーや国際  
NPO法人と協力し、  
レアメタル原産国であ  
り深刻な紛争が続くコ  
ンゴ民主共和国への支  
援活動を強化する。



今回のプロジェクト  
では、同社、事務機器  
や各種オフィスソリュ  
ーションを扱うウエダ  
本社（京都市）、平和支  
援活動を展開するテラ  
・ルネッサンス（京都  
市）が連携。ウエダ本  
社が手掛けるオフィスリ  
ノベーションや事務機  
の入れ換え等で発生し  
た使用済みPCを安田  
産業が引き取ってリサ  
イクルする。処理後の

売却益から1台に  
つき30円  
をテラ・  
ルネッサ  
ンスに寄  
付し、同  
法人を通  
してコン  
ゴ民主共  
和国での  
医薬品や  
防疫機器  
の購入、  
元子ども  
兵の社会  
復帰支援

を目的とした職業訓練  
等の活動に役立てる。  
「CSRの意義が高  
まり、関心を持つ企業  
は増えている。一方、  
国内では小型家電リサ  
イクル法が施行され、  
電子機器の循環利用に  
注目が集まっている。  
そうした状況下で、モ  
デルケースとして今回  
のパートナーシップを  
組んだ」と話すのは同  
社担当者の安田義崇  
氏。小型家電リサイク  
ル法が一般廃棄物のP  
Cを対象に含んでいる  
点を踏まえ、排出の多  
い事業系PCのリサイ  
クルとCSR活動とを  
結びつけた。プロジェ  
クトの意義に賛同し参  
画する企業を随時募集  
しており、一般ユーザ  
ーのPCについても、  
同社工場への持ち込み  
を受け付けている。

支援プログラム「ケー  
タイ for コンゴ」  
を実施。日本国内で関  
心が高まるレアメタル  
が、原産国の1つコン  
ゴでは紛争の原因の一  
端となっていることを  
踏まえ、コンゴ問題と  
都市鉱山開拓へ同時に  
貢献できるプログラム  
として企業・個人の参  
加を募ってきた。

回収した使用済み携  
帯電話やPC等の処理  
については、まず機器  
のデータ記憶部分に穴  
を開け、物理的に情報  
破壊を実施。そのうえ  
でエアーツールを使い  
手作業で部品ごとに分  
解し、精錬メーカーな  
どに売却する。

以前から、安田産業  
とテラ・ルネッサンス  
は使用済み携帯電話リ  
サイクルを通じた人道

かつ分かりやすく伝え  
るよう工夫している。  
同氏は「PCを直接  
送ってはどうかという  
意見もあったが、有用  
資源の安易な流出につ  
ながる懸念もあり、リ  
サイクル事業者として  
再資源化を完遂してこ  
そという思いもあっ  
て、現在の形とした。  
“何か貢献したい”とい  
う思いは市民の皆さん  
も企業も問わず高まっ  
ており、その受け皿と  
して活用していただい  
れば幸いだ」とした。

昨年使用済み携帯  
電話を約3万台回収。  
協力団体には携帯電話  
の回収個数や金属回収  
量、換金総額や寄付金  
の用途をまとめた報告  
書を発行する等の“見  
える化”を進め、参加

者へ貢献内容を具体的に

情報機器リサイクルを担う

安田産業・伏見工場

復帰支援

サイクルを通じた人道

者へ貢献内容を具体的に